



厚小だより

特別号②

令和6年1月31日(水)

発行者

厚岸町立厚岸小学校

校長 安部新路

よりよい教育活動を目指して

今年度2回目となるアンケート(12月実施)へのご協力ありがとうございました。今回の集計結果をお知らせします。皆様方の声に耳を傾け、少しでも教育活動に反映し、改善できるよう努めてまいります。

《児童アンケートの集計結果》 ※1~6年生に回答してもらいました。

【1. 学校生活について】			1回目
1	学校での生活は楽しいですか。	3.6	3.7
2	厚小の子どもたちは、学校やいろいろな場所での「きまり」を守っていますか。	3.4	3.3
3	厚小の子どもたちは、「いじめ」や「いじわる」をしないで友達と仲良くしていますか。	3.6	3.5
【2. 学習面について】			
4	先生の教え方は、わかりやすいですか。	3.8	3.8
5	難しい問題もあきらめずに取り組んでいますか。	3.5	3.6
【3. 生活面について】			
6	「早寝・早起き・朝ご飯」はできていますか。	3.3	2.8
7	ゲームやインターネットをするときのきまりを守っていますか。	3.5	3.2
【4. 自分の行動について】			
8	どんなことにでも自信を持って取り組んでいますか。(勉強や運動など)	3.5	3.5
【4. 先生のことについて】			
9	先生は、子どもたちのことを考えてくれていますか。	3.9	3.8
10	先生は、よいことはほめ、よくないことを注意してくれますか。	3.9	3.9

《保護者アンケートの集計結果》 ※スマートフォン等で回答できるWeb版で実施しました。

【1. お子さんの様子について】			1回目
1	子どもは、友達と仲良く明るい気持ちで学校生活を送っている。	3.3	3.6
2	子どもは、善悪など自分で判断して行動する力が育っている。	3.4	3.3
3	子どもは、決まりを守る意識や習慣を身に付けている。	3.4	3.3
4	子どもは、授業の内容が身に付いている。	3.1	3.1
5	子どもは、毎日、家庭学習に取り組んでいる。	3.4	3.5
6	子どもは、基本的な生活習慣(早寝・早起き等)が身についている。	3.1	3.2
7	子どもは、運動に興味を持って体力づくりに取り組んでいる。	2.8	2.8
12	子どもは、自分に自信を持って何事にも取り組んでいる。	3.1	3.0
【2. 厚岸小(教職員)の姿勢について】			
8	先生は、保護者の願いや相談をしっかり受けとめている。	3.4	3.5
9	先生は、お便りやHP、懇談などで子どもの様子をわかりやすく伝えている。	3.6	3.7
10	先生は、よいことはほめ、悪いことは注意するなどわかりやすい指導をしている。	3.5	3.5
11	先生は、子どものトラブルなどに迅速かつ丁寧に対応している。	3.5	3.5

※4段階評価「4(はい)」「3(少しだけはい)」「2(少しだけいいえ)」「1(いいえ)」

保護者アンケートの自由記述から（要約）

自由記述欄にも、ご意見やご感想、ご要望をお寄せいただき、ありがとうございました。ここでは、内容を要約し紹介させていただきます。今後、いただいたご意見やご要望、ねざらいも含め、学校全体のこととして捉え、改善すべき点は改善してまいります。

【登校時間について】

○登校時間に合わせて、毎朝 6 時に起きているが、冬場はまだ夜のような暗さで、起きるのが大変である。8 時という登校時間をもう少し遅くしてはどうか。

多くの職員がその時間に合わせ 7 時 40 分には学校に来ている現状があり、超過勤務の原因の一つとなっています。(職員の勤務時間は 8:00~16:30)働き方改革の観点などから、次年度見直したいと考えています。

【スポーツ DAY について】

○来年度は子供達の頑張りをもっと輝く内容にして欲しいと思います。

前回も記載していますが、新型コロナウイルス感染防止に関連して、時間短縮を目的として現在のプログラムになったとのこと。次年度検討していきたいと考えています。

【その他】

○毎日、お世話になっております。我が子が毎日ほぼ休まず登校できおり、安心しております。教育理念をお持ちになり、今後ともどうぞご指導を宜しくお願い致します。

ありがとうございます！

【施設について】

○トイレの和式を無くして全て洋式に変更して欲しいです。

前回も記載しましたが、昨年度、PTA の皆様や地域の皆様のお力添えで、教育委員会に改修に関する要望書を提出させていただきました。具体的な回答はまだ得られていませんが、ご承知おきください。

【行事開催日について】

○運動会や学習発表会について、昨今の時間短縮や授業時間確保の観点からも、あのような内容での開催もやむなしと思うが、それなら、わざわざ休日に行わず、児童のみ、もしくは、授業参観の形で行ってはどうか。

土曜活動日の在り方について、厚岸町のみならず釧路管内でも教職員の働き方改革の観点から、見直しの動きがあります。本校としても検討し、見直しを図りたいと考えています。現段階では次年度のスポーツ DAY、学習発表会は土曜開催を予定しております。

【保護者の皆様へ】

児童アンケートからは、前期同様、学習を含め、楽しく学校生活を送っている様子が伺えます。あきらめないで学習に向かう姿勢をもつこともできているようです。生活面の「早寝早起き朝ごはん」については、改善できたと自己評価する児童の割合が、前期に比べて増えていることがわかりました。また、保護者アンケートにつきましては、項目 9「情報発信」項目 10「生徒指導対応」などが高い評価となりました。これからも、子ども達の気持ちや考えを大切にしながら、さらなる改善に向けて支援していきたいと考えます。しかし、項目 7「体力づくりへの取組」については、前回と同様やや低い評価となり、学校と家庭の両方からの働きかけを一層大事にしていきたいと思っております。本校の課題の一つと捉えていますので、体を使った遊びをご家庭でも奨励していただければ幸いです。(縄跳びなど一人で手軽にできるもので結構です。) 3 学期も引き続き、本校教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

効果的で質の高い教育活動を目指して

北海道教育委員会では、効果的で質の高い教育活動を持続的に進めるよう、教員が心身ともに健康を保ち、誇りとやりがいをもって働くことができる環境の整備(働き方改革)に力をいれています。

学校の働き方改革は、保護者の皆様や地域の皆様のお力添えがなければ実現できません。子どもたちの未来のための取組に、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



北海道の教員の状況(年間の時間外在校等時間の状況)

学校種別	対象年度	教育職員数	全教育職員平均	増減
小学校(参考値※)	令和3年度	11,476人	339.5時間	-8.3時間
	令和4年度	13,791人	331.2時間	
中学校(参考値※)	令和3年度	7,051人	420.0時間	+16時間
	令和4年度	8,192人	436.0時間	
高等学校	令和3年度	7,328人	451.6時間	+8.1時間
	令和4年度	7,187人	459.7時間	
特別支援学校	令和3年度	4,351人	259.3時間	-6.4時間
	令和4年度	4,291人	252.9時間	

※ 回答があった市町村教育委員会の数値から算出したもの

なぜ、学校の働き方改革が必要なのか？

多くの先生方は、教師という職の崇高な使命感から、「子どものためなら、長時間勤務もいとわない。」という想いで一生懸命働いています。

しかし、その中で先生方が疲弊していくのであれば、それは結果として「子どものため」にはつながりません。

先生一人一人が、日々の生活の質や教職人生を豊かにし、人間性や創造性を高めることは、より効果的な教育活動につながります。更に、教師という職の魅力が向上し、教師を志す者の広がりによって、教育全体の質の底上げや持続につながって行きます。

働き方改革は、北海道の教育の質の向上のために取り組んでいます。



北海道教育委員会の主な取組



勤務時間の客観的な計測・記録と公表

教員の勤務時間の計測・記録やデータの公表を推進しています。



専門スタッフの配置促進

教員業務を補助するスクール・サポート・スタッフや部活動指導員等の配置を進めています。



ICTを積極的に活用した業務等の推進

校務の効率化のためのICTの活用の推進に努めています。



部活動休養日等の完全実施

生徒のけが防止や教員の負担が過度にならないよう、部活動の休養日等の設定を推進しています。



部活動の地域移行等に係る実証事業

国と連携し、休日の部活動を段階的に地域へ移行する実証事業に取り組んでいます。



地域との協働による学校支援体制の構築

保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」の導入等を推進しています。